備　前　市　事　務　事　業　評　価　シ　ー　ト

（平成23年度事業）

事業の概要

事業開始年度	平成３年	根拠法令・例規等	
総合計画 大項目	基本目標 02 健康でやさしさあふれるまちづくり	問合先 担当課（室）	保健課
中項目	基本施策 02 健やかで生き生きしたまちづくり	職・氏名	健康係長・春名美郎
小項目	施策 06 健康づくり	電話	６４－１８２０
事務事業名	07 ヘルスパ日生管理運営事業	このシート作成に要した時間	3.5 時間

Plan

事業の目的

対象（誰・何に対して）	健康づくりに興味をもつ市民及び温浴に来られる来場者
目的（何のために）	市民が健康で明るく生活できるよう、健康づくりの場を提供する
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	より多くの市民が健康づくりに興味を持ち、健康で明るく生活できる地域の中心的施設のひとつとなる。

Do

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
健康づくり施設管理運営事業	指定管理者（公益財団法人体力つくり指導協会）に対して、市民が健康で明るく生活できるよう、健康づくりの場を提供することを目的として、ヘルスパ日生（温浴施設）の管理運営を委託する。	○

事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
決算額 事業費	直接事業費	千円		22,261	22,292
	必要人員 人件費			0.09人 869	0.08人 663
	事業費計		0	23,130	22,955
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
	その他（　）				
	一般財源			23,130	22,955
受益者負担比率		%	－	－	－

結果指標名		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
結果指標	温浴施設利用者数	説明	温浴施設利用者数		
	結果指標量	人	43,014	41,682	43,854
	対前年比	%	－	96.9%	105.2%
	活動コスト	円	24,815,000	22,261,500	22,955,000
	単位当たりコスト		577	534	523

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標であるる成果指標に留意しながら有効性を評価

事業の成果

成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
施設利用者増加率	目標値（A）		100.0%	105%	105%
	実績値（B）		97%	105.2%	到達目標値
	達成率（B/A）	#DIV/0!	96.90%	100.19%	105%

成果指標設定の考え方・式や説明

より多くの市民に利用される施設運営を目指すことが課題であるため、利用者数の増加率を成果指標としている。

Check

事務事業の評価

該当する項目を□から■へ　＜ ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください＞

妥当性の評価

市の関与の妥当性必要性

- □ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- □ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- ■ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- ■ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- □ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- □ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- □ 事業開始当初の目的から変化してきている
- □ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- □ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある

市民ニーズ

- ■ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A 高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**C**

効率性の評価

コスト手段

- ■ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- □ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- □ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- ■ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- ■ 受益者負担率は適正である
- □ 受益者負担率を見直す余地がある
- □ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- ■ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A 高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**B**

有効性の評価

目的達成度市民参画度

- □ 成果指標の設定は適切である
- □ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- □ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- □ 成果指標達成率は80%未満となっている
- □ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- □ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
- ■ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- □ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A 高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**C**

進行年度（H24年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				

説明：平成23年度は、施設利用者が増加しており、施設の有効活用をより推進するため、引き続き多くの市民が利用する施設となるよう指定管理者と協議、検討を行う。
利用者の拡大をはかるため、第３土曜日に通常料金の２００円引とする特別料金設定を行っている。
また、本年度においては、ミストサウナ等施設の維持補修を予定している。

総合評価

運営経費が年間22,000千円（H24年度～H26年度）必要とする温浴施設であり、市民ニーズにより継続運営されている。
施設の継続的運営をしていくためには、より多くの市内地域（市民、市内企業）の方に利用される施設（健康づくり推進の場）として運営していく必要がある。
また、平成３年度の建設施設であり、老朽化が進んでいるため今後大規模改修が必要となる可能性があり、そうなった場合の本事業の方向性を予め検討する必要がある。

総合評価（A 高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**C**

Action

平成25年度の方向性・取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

取組目標：施設の有効活用をより推進するため、多くの市民が利用する施設となるよう指定管理者と協議、検討を行う。